PCW-1268M(15020)

施工説明書

アメージュ Z 用・掃除口付便器用 フルオート便器洗浄ユニット

密結タンク QC・QD 用

安全のために守ってください！

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
商品の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
分解禁止

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。
水場使用禁止

本体やコードに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
水かけ禁止

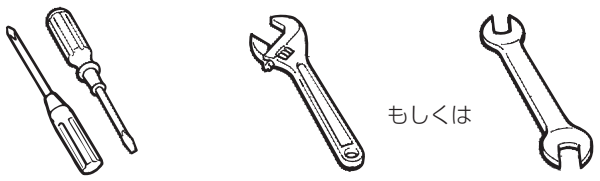
コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※コードが破損し、感電・火災の原因になります。
禁止

取り外したレバー類は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをおすすめします。

準備工具

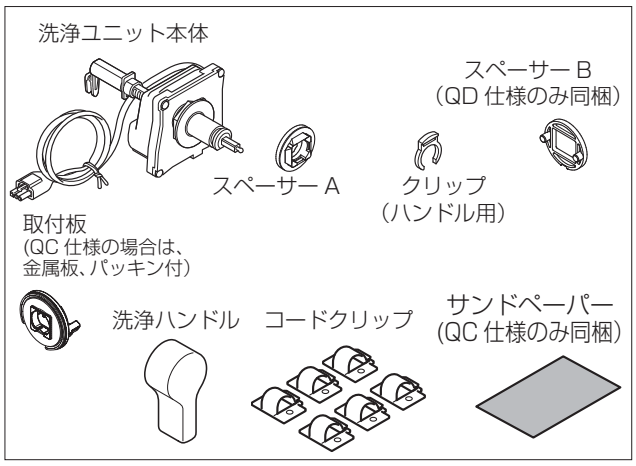
取り付ける際は、次の工具をご準備ください。

⊕⊖ドライバー　モンキーレンチ（24mm）　スパナ（24mm）



部品の確認

※梱包内容を確認してください。



施工前のご注意

■取付可能便器について

アメージュ Z 便器・マンションリフォーム用便器・車いす対応防露便器・掃除口付便器に取付可能です。
該当品番は下記のとおりです。

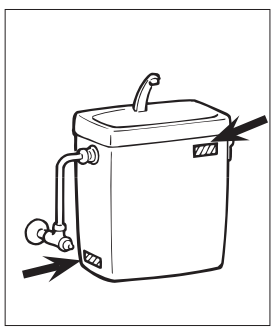
便器部（参考）：(G)BC-ZA・Z10(SU、ST、PU、HU)
(G)BC-360PU・(G)BC-220SK
C-100(S、P)・C-180(S、P)・BC-110(STU、PTU)
(G)BC-P10(S、SM、SML)

タンク部　：DT-ZA・Z180(U、T、HU)・DT-ZA・Z150(U、T、HU)
DT-M180PM、DT-M150PM・DT-K250、K280
※ DT-K250ML は除く
DT-4840、4540・DT-4850、4550
DT-5800BL、5500BL・DT-4800BL、4500BL
DT-PA180(CH)・DT-PA150(CH)

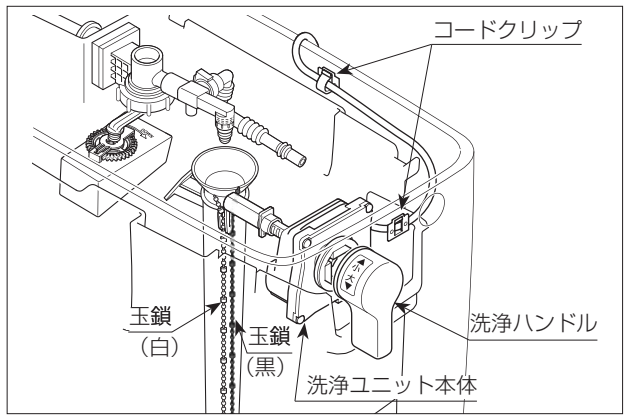
※寒冷地仕様（ヒーター付便器、流動、水抜きタンク）にも対応可能です。
※洗浄ハンドルが向かって左側にある場合は、組付けできません。

便器品番の場合

タンク品番の場合



■施工完了図



- 本製品はシャワートイレとセットになっています。単独で取り付けることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- フロート弁（排水弁）鎖の長さは、必ず調整してください。
  ※洗浄不良の原因になります。
- 取付完了後、必ず試運転を行ってください。施工時、上水道が通水していない場合は後日、通水してから試運転を行ってください。
  ※洗浄不良または洗浄不能の恐れがあります。

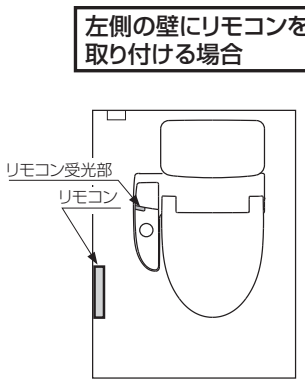
リモコン取付前の確認（KB20 タイプ・K シリーズの場合）

■リモコン信号を確実に受信するために

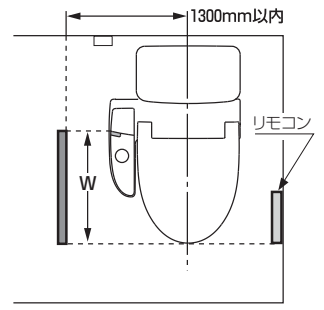
リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁（左側）に取り付けてください。

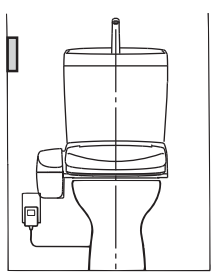
必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
スクリーンの寸法は高さ (H)1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）

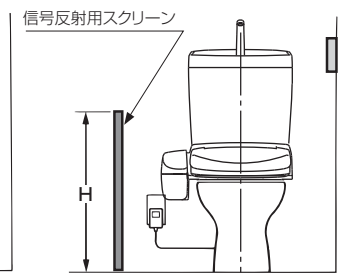
左側の壁にリモコンを取り付ける場合



右側の壁にリモコンを取り付ける場合





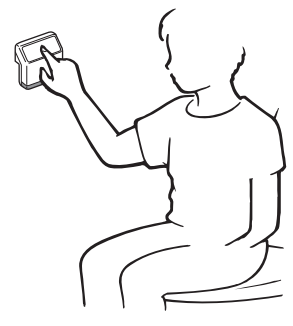


■必ず便座に座って確認してください。

リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って流すスイッチを押します（施工完了後の試運転も必ず行ってください）。

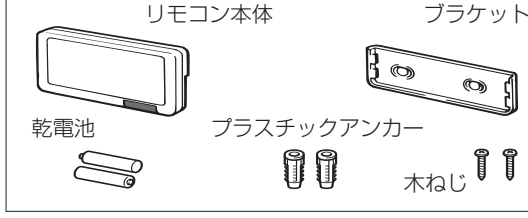
このとき、シャワートイレ本体が正常に受信することを確認します。
自動開閉付の場合：本体から「ピッ」という音が鳴ります。
それ以外の場合：本体の温水表示ランプ「低」が一瞬点滅します。
※ もし、シャワートイレ本体がリモコン信号を受信しない場合、障害物を確定し、その障害物を移動させるか、または移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。

● **リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。**

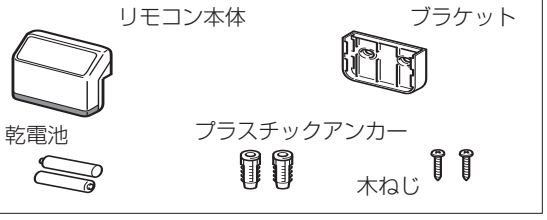


※下図のリモコンのうちどちらか一方が同梱されています。（KB20 タイプ・K シリーズのみ）

自動開閉付の場合



自動開閉無の場合



商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173

受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- ●この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
- ●施工後は必ず試運転を行ってください。
- ●同梱部品以外は、保証の対象外となります。

お客さまへ

- ● 本製品は、シャワートイレとセットになっています。単独で取り付けることはできませんのであらかじめご了承ください。
- ● 本製品の取付けは、専門知識を必要としています。取り付ける際は必ず、施工業者様または LIXIL 修理受付センター（取扱説明書に記載）にご依頼ください。
- ● 取り外したレバー類は、引っ越しなどを考慮して保管することをおすすめします。引っ越しの際の取外し・取付けも施工業者様または LIXIL 修理受付センター（取扱説明書に記載）にご依頼ください。

施工業者さまへ

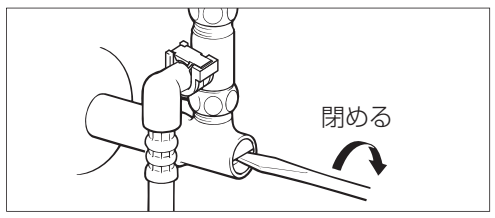
- ● お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施 工 方 法

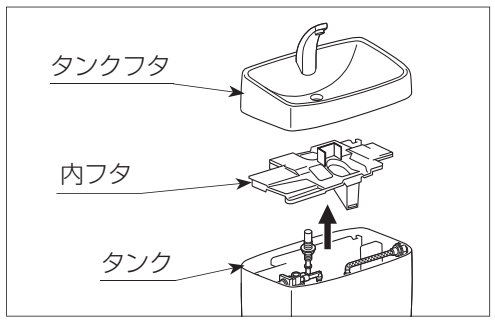
1 取付前準備

(1) 止水栓を閉めてタンクへの給水を止めます。

(2) 洗浄ハンドルを操作してタンクから水を抜きます。 **注意 1 参照**



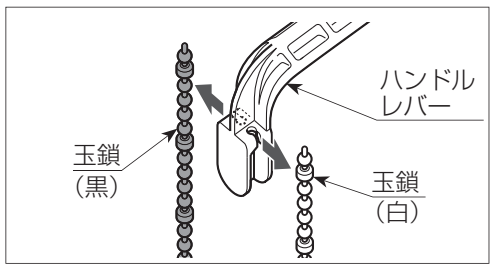
(3) ロータンクフタ・内フタを取り外します。
※ ロータンクフタがビスで固定されている機種は、ビスを取り外してください。



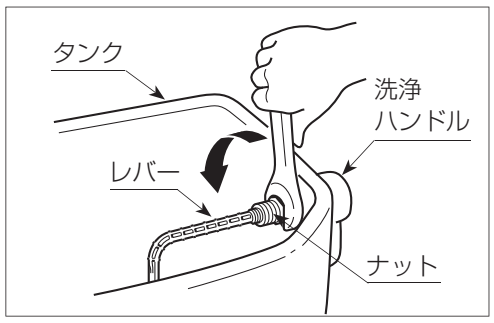
2 既存の洗浄ハンドルの取外し

(1) 既存の洗浄ハンドルおよびハンドルレバーを取り外します。

(2) ハンドルレバーから玉鎖を外します。

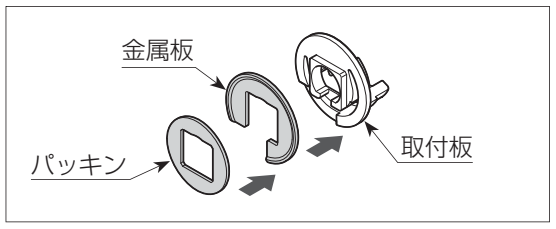


(3) レバーを固定しているナットを外し、洗浄ハンドルをタンクから外します。

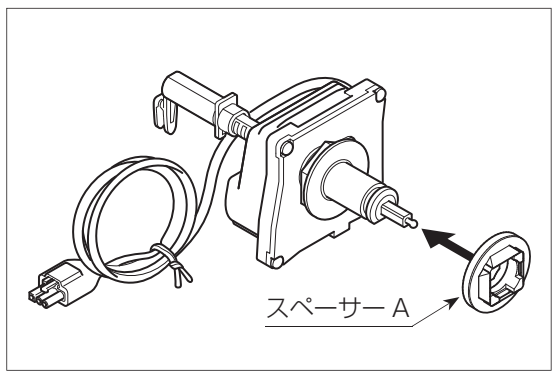


3 洗浄ユニット本体の準備

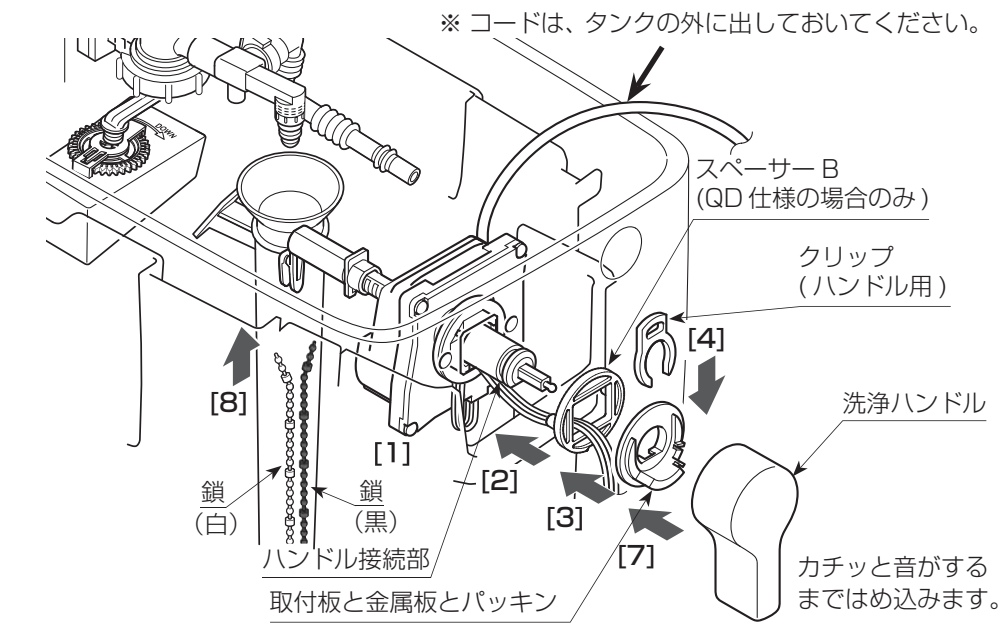
(1) 取付板に金属板とパッキンが取り付けてあるか、確認します。（QC 仕様のみ）
※ 金属板とパッキンは必ず、取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因になります。



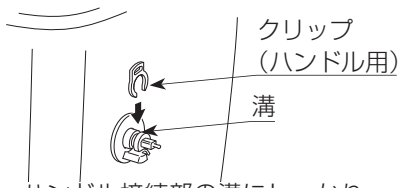
(2) スペーサー A を洗浄ユニット本体に取り付けます。



4 洗浄ユニット本体の取付け **注意 2 参照**

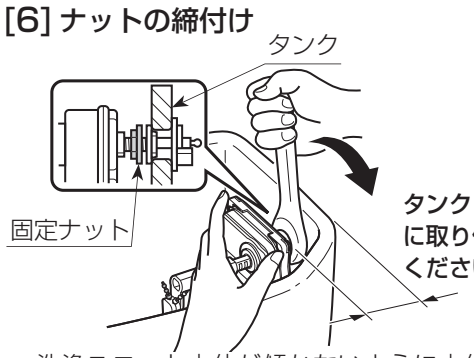


[5] クリップ (ハンドル用の取付け)



クリップは、ハンドル接続部の溝にしっかりはめ込みます。

[6] ナットの締付け



洗浄ユニット本体が傾かないように本体を手で押さえて締め付けます。

(1) タンク穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。[1]

(2) 洗浄ユニット本体を固定します。

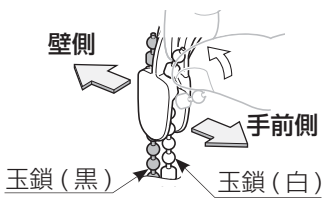
①スペーサー B を追加し（QD 仕様の場合のみ）[2]、取付板をハンドル接続部に差し込み [3]、クリップ (ハンドル用) で固定します。[4]
※ 金属板とパッキンは必ず取り付けてください。取り付けないと取付板が変形し、破損の原因となります。
※ クリップ (ハンドル用) は、ハンドル接続部の溝に確実にはめ込んでください。[5]

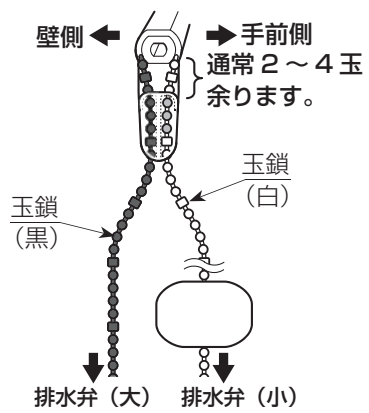
②本体のナットを工具を使って締め付けます。
（締付トルク：2.5 ～ 3.0 N・m）[6]

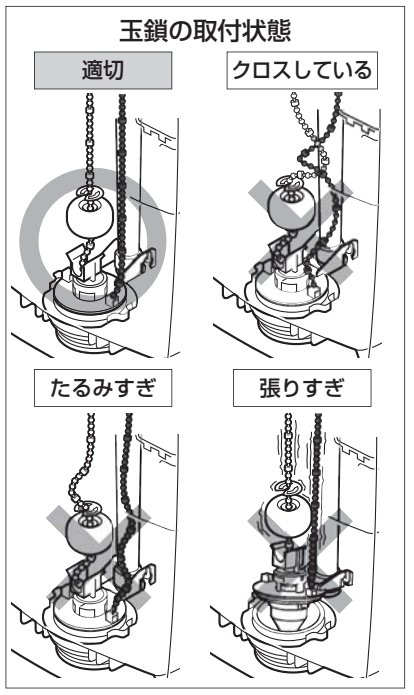
注意 3 参照

(3) 洗浄ハンドルを取り付けます。[7]

(4) 玉鎖の長さを調節します。[8]
レバーの先端を垂直にたらしたまま、フロート弁が上がらない程度に鎖を張り、玉鎖をハンドルレバーに取り付けます。





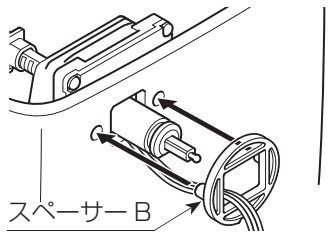


注 意 1

- ● **止水栓は調節してありますので再使用時、元の位置に戻す必要があります。**
- ● **手洗吐水口付の場合は、タンクフタを外したら再び取り付けるまで止水栓を開けないでください。トイレ内を濡らす恐れがあります。**

注 意 2

- ● **洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。**
  ※ 本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- ● **本体が傾かないように注意してください。**
  ※ 本体が傾くと洗浄不良の原因になります。
- ● **クリップ（ハンドル用）はしっかりはめ込んでください。**
  ※ はまっていないと洗浄不良の原因になります。
- ● **固定用ナットの締付トルクは 2.5 ～ 3.0N・mが適正です。**
  ※ 締付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
  ※ 締め過ぎると破損する恐れがあります。
- ● **QD 仕様の場合は、スペーサー B をタンクの穴に固定します。**



注 意 3

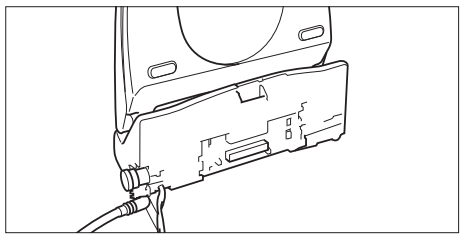
鎖やレバーが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。
また、鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※ 十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。

5 シャワートイレ本体への接続

※シャワートイレの品番は、便フタ裏に記載してあります。

■ PASSO 瞬間式・スリムタイプ PC10 型・E55A の場合の接続

(1) シャワートイレ本体を取り外します。
※ シャワートイレの施工説明書をご確認ください。



(2) シャワートイレ本体を垂直に立てます。

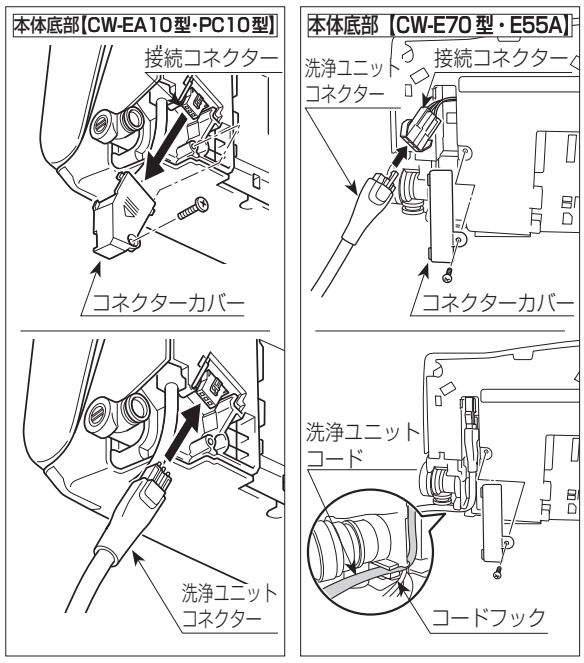
(3) シャワートイレ本体の底部にあるねじを外してコネクターカバーを外します。
※ ねじを落としたり、紛失しないように注意してください。

(4) 本体内部から接続コネクターを取り出します。
※ CW-E70 型・E55A のみ行います。

(5) 洗浄ユニットコネクターと接続します。
※ コネクターはしっかりはめこんでください。

(6) 接続したコネクターを本体内部に納め、洗浄ユニットコードをコードフックにかけます。
※ CW-E70 型・E55A のみ行います。

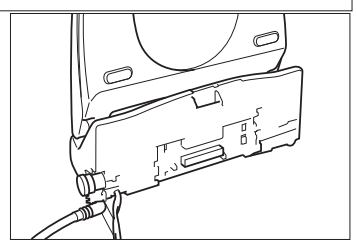
(7) コネクターカバーを取り付け、ねじを締め付けて固定します。



(8) 本体を取外しの逆の手順で取り付けます。
※ CW-E70 型・E55A の場合、取付完了後、必ずロックレバーを押し込み、本体をロックさせてください。

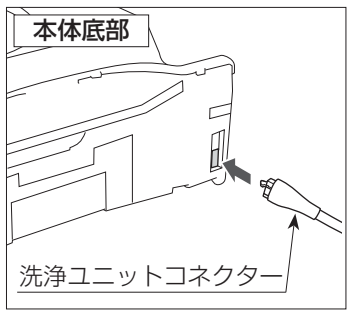
■ KA20 タイプ・KB20 タイプ・PASSO 貯湯式・スリムタイプ E61A・PA10 タイプの場合の接続

(1) シャワートイレ本体を取り外します。
※ シャワートイレの施工説明書をご確認ください。



(2) シャワートイレ本体を垂直に立てます。

(3) シャワートイレ本体底部の右側にあるコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。

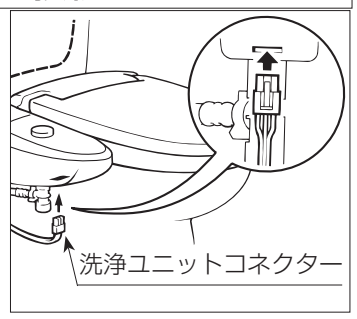


(4) 本体を取外しの逆の手順で取り付けます。
※ CW-E70 型・E61A の場合、取付完了後、必ずロックレバーを押し込み、本体をロックさせてください。

■ K シリーズの場合の接続

(1) シャワートイレの電源を切ります。

(2) シャワートイレ本体操作部の下側にあるコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。



6 洗浄ユニットコードの取回し

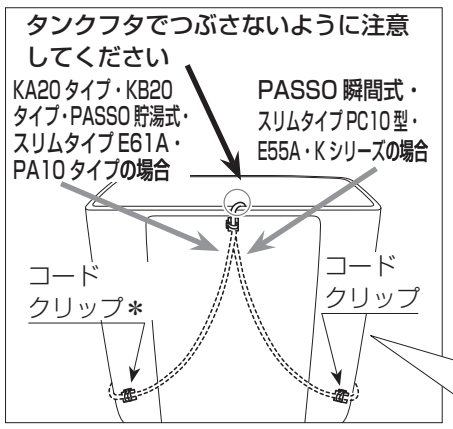
コードクリップを使って、タンク内およびタンク背面にコードを取り回します。 参考 1 参照 注意 4 参照

(1) コードクリップを貼り付ける前にコードを取り回してみて、コードに無理がかからないことや障害物がないことを確認します。コードは、タンク背面から取り出します。

(2) 同梱のサンドペーパーを使ってコードクリップを貼り付ける面をこすり、汚れや水あかなどをきれいにふき取ります。

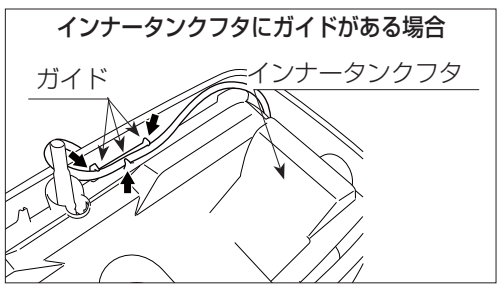
(3) 貼り付ける面が乾いていることを確認し、コードクリップを貼り付けます。
※ インナータンクの内側にコードを取り回さないでください。
※ コードクリップ裏のテープの貼り直しはできません。

■ タンク背面

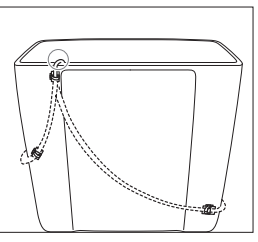


＊下側のコードクリップがタンク背面に取り付けられない場合は、側面に取り付けてください。

■ タンク内部



掃除口付タイプの場合
タンク背面のハーネス取出位置が異なります。



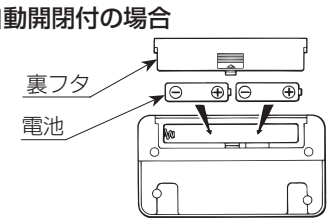
リモコンの取付け （KB20 タイプ・K シリーズの場合）

1 電池の装着・リモコン取付位置の確認

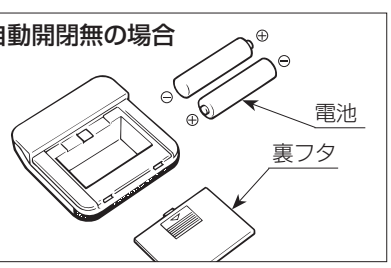
(1) リモコンの裏フタを開け、付属の電池（単三形 2 本）を入れます。

(2) リモコンの取付位置を確認します。(表紙参照)
注意 5 参照

自動開閉付の場合



自動開閉無の場合



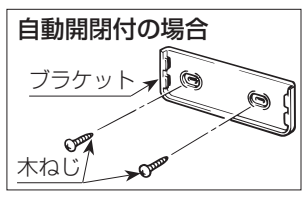
2 リモコンの取付け

(1) ブラケットを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。 注意 6 参照
※ 壁裏の配線や配管等を傷つけないように注意してください。

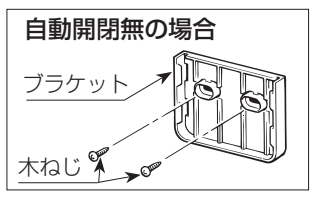
●厚みが 5mm 以上の合板壁の場合

ブラケットを付属の木ねじでしっかりと固定します。

自動開閉付の場合



自動開閉無の場合

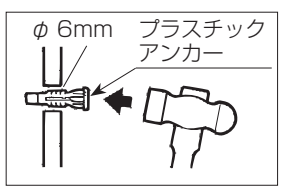


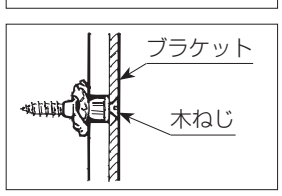
●厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

① 直径 6mm の下穴をあけます。(石膏ボードは 5mm)

② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

③ ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。
締め付けていくとはじめは堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。



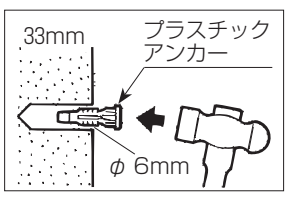


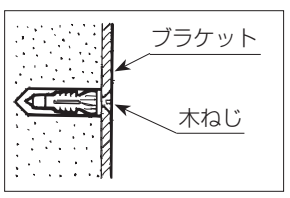
●コンクリートの場合

① 直径 6mm、深さ約 33mm の下穴をあけます。

② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

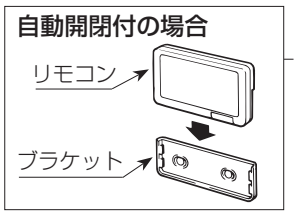
③ ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。



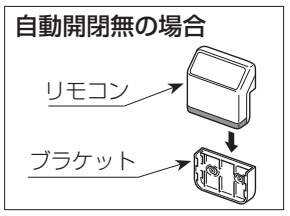


(2) リモコンをブラケットの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。

自動開閉付の場合



自動開閉無の場合

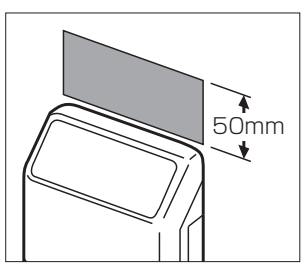


参考 1
シャワートイレ本体のスライド着脱を考慮し、シャワートイレ本体を便器から外してもコードが引っ張られないように余裕を持った取回しをしてください。

注 意 4
- **コードが床に着かないように注意してください。**
- **コードをタンクフタでつぶさないようにしてください。**

注 意 5
- **電池のプラスとマイナスの向きを間違いのないように入れてください。それでも正常に作動しない場合は、玉 1 ～ 2 個分、鎖を張ります。**
- **電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。**
- **同梱の電池を使用してください。**

注 意 6
リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。

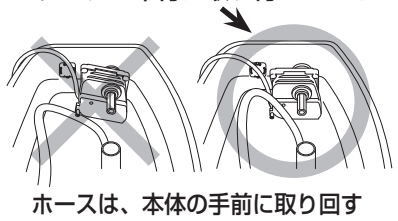


試 運 転

1. 洗浄ユニットとタンク内部金具・ホース類が干渉していないか確認します。

●補給水管用ホースが洗浄ユニットに干渉して本体が傾いていると洗浄不良の原因になります。

●洗浄ユニット作動時、レバーが内部金具やホースなどに干渉しないことを確認します。



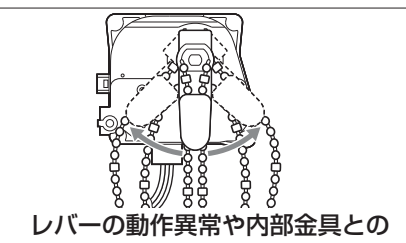
2. 洗浄ユニットの動作確認をします。

シャワートイレ本体に電源が入っていることを確認して、リモコンの流すスイッチ「大」および「小」を押して以下のことを確認します。

●レバーがスムーズに動くこと

●レバーが内部金具やホース類に干渉しないこと

●洗浄ユニットから異音が出ていないこと

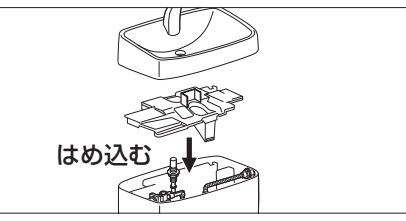


3. ロータンクフタをタンクに取り付けます。

手洗付の場合、接続管を手洗い吐水口に接続します。

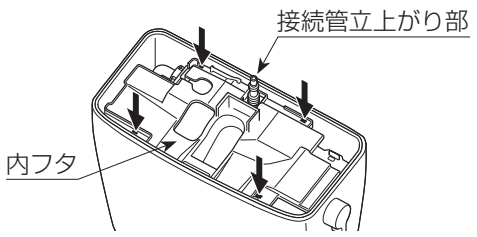
接続管・ロータンクフタの取付方法を参照してください。

注意 7 参照

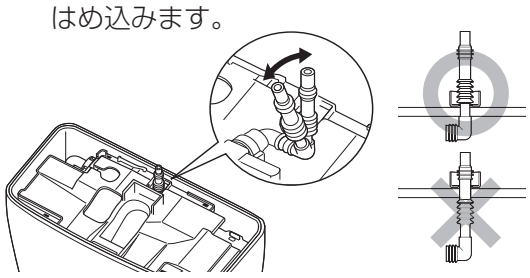


接続管・ロータンクフタの取付方法

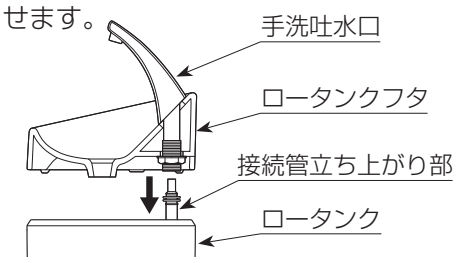
(1) 内フタに接続管を通し、矢印（図中）4 ヵ所を押して、内タンクにしっかりとはめ込みます。



(2) 接続管立上がり部を内フタにある接続管立上がり部の取付位置にしっかりとはめ込みます。



(3) 接続管立上がり部を手洗吐水口に差し込むようにして、ロータンクフタを載せます。



※タンクフタを固定している機種は、必ずビスで固定してください。

4. 止水栓を開けてタンクに給水します。

5. 手で洗浄ハンドルを操作して、大洗浄・小洗浄（大小便器の場合）が確実に行われることを確認します。

手動による便器洗浄が正常に行われなかった場合

●適切なレバーが正常に取り付いていますか？

●鎖は、適切な長さに調節しましたか？たるんでいたり、張りすぎていませんか？

注意 8 参照

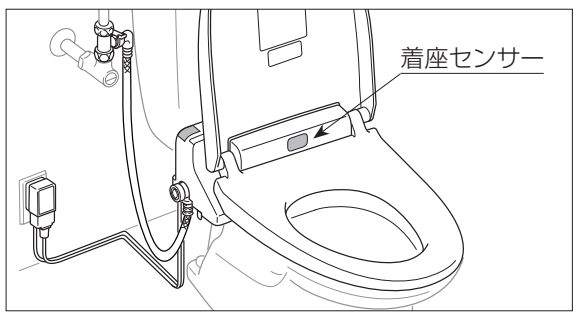
6. リモコンの「大」および「小」スイッチを押して大洗浄・小洗浄が確実に行われることを確認します。

注意 8 参照

7. フルオート便器洗浄を確認します。

（1）着座センサーを手でおおい、数十秒後に手を離します。

（2）6 秒後に自動で便器洗浄が行われることを確認します。



洗浄ユニットが正常に作動しない場合

●シャワートイレの電源は入っていますか？（電源ランプ点灯状態）

●リモコンの電池は入っていますか？

●シャワートイレは正常に作動しますか？（シャワートイレ本体施工説明書参照）

●洗浄ユニットコードはシャワートイレに接続してありますか？

●フルオート洗浄は「入」になっていますか？

PASSO の場合 ：リモコンの自動洗浄スイッチを「入」にします。
K シリーズの場合 ：本体操作部の止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
KA シリーズの場合 ：リモコンの自動洗浄スイッチを「入」にします。
KB シリーズの場合 ：本体操作部の止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
スリムタイプ PC10 型の場合 ：シャワートイレ本体の取扱説明書にしたがってフルオート便器洗浄を「入」に設定してください。
スリムタイプ E55A の場合 ：リモコンの自動便器洗浄スイッチを「入」にします。
スリムタイプ E61A の場合 ：リモコンの自動洗浄スイッチを「入」にします。
PA シリーズの場合 ：シャワートイレ本体の取扱説明書にしたがってフルオート便器洗浄を「入」に設定してください。

8. フルオート便器洗浄の試運転完了後、シャワートイレ本体の施工説明書にしたがってシャワートイレの試運転をします。

※貯湯式の場合、温水タンクを満水にしておくと、すぐにシャワートイレが使用できます。

フルオート便器洗浄について

フルオート便器洗浄とは、便座から立ち上がって数秒後に便器洗浄を自動で行う機能です。

■フルオート便器洗浄解除方法

（必ず、お客さまに説明してから行ってください。）

PASSO の場合 ：リモコンの自動洗浄スイッチを「切」にします。
K シリーズの場合 ：本体操作部の止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
KA シリーズの場合：リモコンの自動洗浄スイッチを「切」にします。
KB シリーズの場合：本体操作部の止スイッチとおしりスイッチを同じタイミングで 2 秒以上押し続けます。
スリムタイプ PC10 型の場合：シャワートイレ本体の取扱説明書にしたがってフルオート便器洗浄を「切」に設定してください。
スリムタイプ E55A の場合：リモコンの自動便器洗浄スイッチを「切」にします。
スリムタイプ E61A の場合：リモコンの自動洗浄スイッチを「切」にします。
PA シリーズの場合：シャワートイレ本体の取扱説明書にしたがってフルオート便器洗浄を「切」に設定してください。
※出荷時は「入」になっています。

注 意 7

接続管は内フタにしっかりはめてください。
ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※漏水の原因になります。

注 意 8

便器洗浄水が流れなかったり、流れっぱなしになったり、または電動時にカタカタ音がする場合は、洗浄ユニット本体がタンクと平行に取り付けられていることを確認します。それでも正常に作動しない場合は、玉鎖を下記のように調節します。

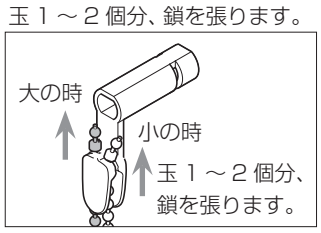
流れない場合：
玉 1 ～ 2 個分、鎖を張ります。
流れっぱなしの場合：
玉 1 ～ 2 個分、鎖をゆるめます。

注 意 9

便器洗浄水が流れなかったり、流れっぱなしになったり、電動時にカタカタ音がする場合は、流せるもん本体がタンクと平行に取り付けられていることを確認します。それでも正常に作動しない場合は、玉鎖を下記のように調節します。

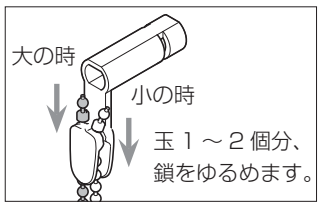
●水が流れない場合

玉 1 ～ 2 個分、鎖を張ります。



●水が流れっぱなしの場合

玉 1 ～ 2 個分、鎖をゆるめます。



※フックをレバーに取り付けるとき、フックの向きに注意してください。逆向きに取り付けると不具合の原因になります。

● 調節後、手動と電動による便器洗浄を数回行って、正常に作動することを確認してください。